

2019年3月期 第1四半期 決算説明会 主な質疑応答（要旨）

Q1 通期予想を上方修正した理由と、第2四半期以降の業績の見通しについて教えてください。

- 各事業の足元の状況を踏まえ、全体としては上方修正しました。
- 第2四半期以降は、大口法人顧客を中心としたプライシングの適正化を継続する一方、「働き方改革」や事業構造改革の推進により改革費用は増加する傾向が継続する見通しです。
また、ヤマトホームコンビニエンス株式会社の不適切な請求に係る影響も織り込んでいます。

Q2 集配キャパシティの拡大に向けた体制強化の進捗を教えてください。

- 現在、夜間の配達を中心とした体制（アンカーキャスト）について、各エリアに合わせた稼働体制を精緻に設計しながら、慎重に進めています。
- アンカーキャストの先行導入エリアにおいては、セールスドライバーとの引き継ぎ連携もスムーズに進み、効率的な集配につながるなど、当初想定通りの結果が出ています。
- 引き続き、集配キャパシティの拡大に向け、集配体制の構築に取り組んでいきます。

Q3 ヤマトホームコンビニエンス株式会社の不適切な請求に係る影響について教えてください。

- 第1四半期において、調査結果を踏まえた見積り影響額は31億円です。
- 法人引越サービスの新規契約、新規受注については、今年度は再開しないことを前提とし、通期合計で、連結営業収益に95億円、連結営業利益に60億円のマイナス影響を見込んでいます。

以 上